

おかげさまで

何とか会社らしくなってきました。

ガラーンとしたオフィスに、カーペットが敷かれ、机や電話や棚が入り、スタートして早や一年。今では商品が入り小さいオフィスは一杯になってしましました。やっとビー・エッチ・エフ・インターナショナル通信二号を出す事はできました。この不況の中で何とか生きている証しとして小社やこの青山界隈の近況をお届けします。

ニット本番 秋物展は

五月十一日 (火)
から開催します

ただ今、秋物展に向けて大ワラワです。今回の特徴は「まず色」。秋を感じさせる深い色合い。そして単品色として欠かせない明るくきれいな色目をふんだんに展開します。

シルエットはゆったり、たっぷり。カーディガンタイプの丈は今までに比べてかなり長めを意識しました。

素材・価格はハイクオリティB HFならではです。タスマニアアン ウール、シルク ウール、アルパカ、アングラ等の高級素材を使い、ほとんどが一万円代です。春物の反省として『二万円を越えると販売枚数がガタッと落ちる』『これなら二万円を越しても決して高くはないが、一万円代だったら飛んだね』という声が多くありました。今回は、売り切りから追加販売できるプライスを第一の目標にしました。グレードを落とさずこなれた価格に。『素材はいいのにやすいね』と言って頂くこと間違いなしです。

麻素材が大健闘

夏物展 (三月展)

春物からひきつづき麻素材が好調でした。特に清涼感のある、明るく、さわやかな色目の半袖カーディガン1057と、麻混の意匠擦糸を使ったシンプルな大きめのカーディガン1055

5は、小社としては珍しく追加生産しました。概して、コン系、レンガ系は余り人気がありませんでした。暗い色もいまいち。ポーターのTシャツはダメでした。失敗

ハイゲージ一辺倒から徐々にミドルゲージに移ってきているようです。以前十二ゲージや十ゲージの機械は一杯でしたが、今は七ゲージあたりが大活躍。それに細番手の綿や化学繊維から綿、麻などの天然素材が良いようです。

スーツから、単品カーディネットに。いかに頑張ったオシシャレ！から、さりげないオシシャレに。でも、ひと味か何らかのこだわりが要るゴマカシのないファッションに移ってきたようですね。



南青山界隈

青山学院大学の近く、青山通りに面して東京でも有名な花屋さん、第一園芸があります。

ここは、いついってもお花畑にいるように、夢の世界に誘ってくれます。それに花の種類が多さに目を見晴らされます。

花の世界でもトレンドがあるようで、季節以外でも、花の種類や表現の仕方等かなり変化が見られます。今年の春、目を引くのは地中海スタイルでもいうのでしょうか、鉢がほとんど素焼きのレンガ色をしています。プラスチックの鉢も素焼きのレンガ色をしています。このレンガの色は緑を引き立てるのに、とても役立つようです。

それに今年の春のチュリップの種類が多かったこと。オランダ等からの輸入が多いようですが、屋間に花びらが開き、夜になったら閉じて長持ちする種類がふえているのがこの頃の特徴だそうです。

二階の喫茶店でお花を眺めながら一休みも一考です。でもこのコピー五百円は高すぎる。

best-3

夏物展



8色展開
オフ、イエロー、ピンク、Lグリーン、エンジ、コン、カーキ、チャコール

7ゲージ・麻と編み地がピッタリで柔らかさと涼感がポイント
さりげない大人の可愛さが好評でした。
今回の売れ筋NO1

NO. 1057 麻100%
上代¥18,000



5色展開
オフ、サーモン、ベージュ、パープル、グレー

10ゲージ・天竺ワイドポーター
高級な意匠擦糸(ノットヤーン)をふんだんに使った同色ポーター、柔らかな肌触りと色合いがGOOD

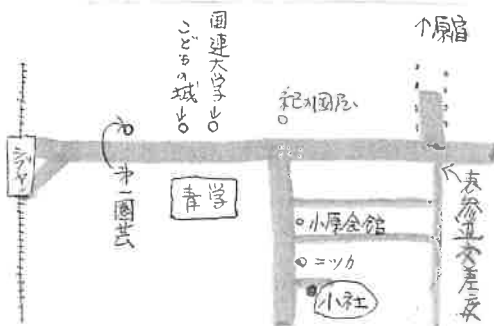
NO. 1061
C25%AC10%N10%RY55%
上代¥17,000



8色展開
オフ、イエロー、ピンク、グリーン、エンジ、コン、カーキ、チャコール

7ゲージ・リンクス柄
ジャスト丈と短めの編み出し、ネックの手まつり、きれいな色だし、麻の光沢が好評でした

NO. 1042 麻100%
上代¥16,000



帯が、ら吉へ

(一とゼロの違い)

やることなす事が会社として始めての事ばかり、予定が立たず段取りが掴めず、ウロウロ、アタフタ。アツと言う間に一日、一週間が経ってしまいます。

嫌しい中にも、物作りの楽しさもあり。そのニット履アパレルの悪戦苦闘ぶりを紹介させて頂きます。



まずは糸。どんなニットを作るかは、どんな糸を使うかが重要な決めて。安い糸を使って高く見せたりというようなハイテクニットは持ち合わせていませんし。ましてや小社は無地ライクな企画が多いので、この糸を決めるのが最初のハイライトなのです。

素材展を見たり、糸商さんに糸見本を見せてもらったりしながら捜していきます。捜すと言っても、半年も前から全部のデザインが決まっているわけではなく漠としたなかで糸選びをしているわけですから。それに糸を見てデザインヒントを得ることも多いのです。だから、なかなかこれという決定打がなく、結局「宇土さんのほしいのはこれでしょう」となるのがほとんどなのです。マア相手は長年やっている糸のプロなんですから仕方ないですけど、頼もしい見方です。たまには「どの紡績で作っている何々素材の何番手、こんな風合いでコインアップして何キロ」といってみたいのですが。(向こうも言われてみたいと思っっているでしょうが)

次にすぐ「ジャアなに色で？」とくるんです。やっと糸を決めたばかりなのにと思っ



ていても先方は生糸(ナマイト)を工場に送

るわけにはいかないのですから、当然「なに色で？」となるんです。

それに染工場はたびたび一杯になり、時には順番待ちで一、二ヶ月かかってしまうときがあるので、早め早めに染めないとけないのです。

シーズン中に使うだいたいの色目(三十色ぐらい)は、ピーカーして色データーを取っておかないといけないのです。いっぺんに染めたら、それこそパニックになるのです。

*****覚えておくと便利ニット豆知識*****

ピーカーはピーカーで実験



本番で大量に染める前に、試験的に染めて、染料のデーターを取ることです。昔はピーカー、今ではコンピューター制御のハイテクで、本番と同じ素材を染め色見本にします。はじめはピーカーの小さい色で全体の色を想像できなくて苦労します。

どうしてアングラにはナイロン



蕎麦は二八で 鬚はナイロン
アングラの毛にはキューティクルがないのです。キューティクルがないと引っ掛かりがなく、ボソボソと抜けて糸にしにくいのです。そのアングラを撚糸するときの鬚ぎとして、ナイロン糸を使って強度をつけるのです。たまにアングラ100%もありませんが使いにくく敬遠されます。よくウール100%でないといわれる方がおられるのですが、こんな理由でゴカンベンください。

でも、この色を決めるのが大変なのです。人間の色を見分ける能力は二万色以上といわれるぐらいですから。この中から、たった三十色を絞り込むんです。しかもこちらは凡才ときているんですから時間が掛かるんです。迷い始めたら、終りのないゲームに嵌まり込んでしまうので頭がいたくなってきます。

「ここでグズグズしていたら、工場さんから『何ゲーの機械をつかいますか?』『デザイン指示書が届きませんか?』『糸はまだですか?』等々。と、もう次のひとに迷惑をかけているんです。一難去ってまた一難。(こんなにしてもらっているのに難と思っっているのですからバチが当たりますよね)まずファーストサンプルを作ってもらいます。アパレルは工場さんの腕が財産です。幸いにも、不況ゆえに、小社みたいに弱小規模でも、良い工場さんを作って貰えるので不況バンザイです。何が幸いするかわかりません。ファーストサンプルが上がり次第チェック、修正、パット、ボタン、タグ、ネーム、品番、色番。やっと各色サンプルになったと思ったらもう展示会は迫っています。

展示会の案内状、絵型、受注書、等々とこんどは営業マンに早変わり。よくこんなんで、メーカーやっつるなと自分でも思うのですが、もうお分かりのように、プロである相手の方々に支えられてやっているだけなんです。手を合わせて感謝しています。その後も、現物生産の打ち合わせ、納期、そしてお店へのお願ひ等々。いっぺんに考えたら弱い頭が熱を持ちそうなので、こちら辺で終りにします。

ツリートップス ホテル

動物園が逆になるアフリカならではのユニークなホテル

ケニアの首都ナイロビから車で約三時間。話には聞いていたけど、思わず「ヘー」というホテルです。ジャングルが小学校の校庭ぐらいの広さにポツカリ開け、そこに直径二十メートルぐらいの池。太い丸太を組んだ上に人間が入るオリ(ホテル)があります。チェックインして梯子へ通じる床ドアが開められたら、翌日のチェックアウトまでホテルの外へ出ることはできないのです。

海抜が高いので、夏でも夜はかなり寒くストーブを繰るに外の動物を眺めるのです。私が泊まったこの日は運よく三十頭ぐらいのゾウの群れが水を飲みに来られました。足元のすぐ下をゾウの巨大な背中が動くのは大変な迫力です。小ゾウも何頭かいて、本当にラッキーでした。ゾウ以外にもイボイノシシが集団で遊んでいたりと、バッファローが通り過ぎたり、何時間外を眺めていても飽きないところです。

こんなオリの中のホテルなのに夕食はフルコースのディナーで、三時には屋上でスコーンとミルクティーさすが英国人のリゾートのつくりかたには脱帽です。

*エリザベス女王が、ここに泊まりになつておられる時、父君が亡くなりになり、このホテルで女王陛下になられたというとても有名な事です。



ツリートップス